

質問1 現況では、11月の水木金(2泊3日)で総会を開催しておりますが、今後の総会日程(曜日・日数・時期など)はそのままが良いでしょうか。他に良いと思われる日程がありましたら、具体的に教えてください。

<そのままが良い>

- 現状では、会社員等勤めをしている方々にとって、非常に出席しづらさがあるが、休みを取りやすい時期は、宿泊費等が高く、諸教会にとって費用負担が大きくなり適当ではない。従って、現状の日程でやむを得ないとする。
- 本来ならば決算と事業計画などを審議事項とすると6~7月が望ましい。
- 他の日程の具体例について、質問2とも関係しますが、もし議事のみを一日に収められれば、それも一計。その場合、宿泊などのお世話は考えない。抱き合わせてプログラムを組むとしても、それは総会とは考えないで行う。
- 火水木
- そのままで『も』良い。
- 出来るだけ多くの方が参加できればと思いますが、土日祝日は子育て世代が難しく、平日は学生や働いている方が難しいと思います。日時よりも開催方法を検討するほうが良いと思います。
- ころころ変わるのは困る。
- 当面は、現状で行うしかないように思います。
- 11月以外でもよいと思いますが、総会直前の準備を考えると水木金でしょうか。
- 良い季節は伝道集会にあてたいので、クリスマスになる前のこの時期のまが最適です。
- 教会行事が忙しくない11月が良いと思われるが、多くの総会運営スケジュールにとって、11月がベストであれば、今まで通りが良い。
- 曜日・日数は今まで通りでよいと思います。
- 11月は教会の行事も多く、クリスマスに向けての準備も始まり、教会としては多忙な時期なので、他の時期に変更ができるのであれば見直していただいた方がよいと思います。
- 木・金・土は遠距離の教会に負担が大きい。
- 毎年のごととして予定しているから。
- 執事全員「そのままよい」との回答、ただし同時に「ウェブ参加」との回答となっておりますのでご留意ください。牧師としては、12月ハイシーズン前は避けたいので、せめて10月下旬&ウェブ参加希望ですが、もし集まるとするなら1泊2日がせいぜい。
- 信徒がより総会に参加できるように2泊3日の場合は(木)~(土)、1泊2日が可能な場合は(金)~(土)。
- 複数年に一度(例外を含む)の開催で良いのではないか。

<他の日程が良い>

- 6月頃の開催が良いと思います。11月開催だと当該年度の活動や予算執行が半年以上行われていて実質的検討になりにくいと思うので、1泊2日で終えられるように。
- 日程は1泊2日。8月のお盆休みだと年休が取りやすい。
- 「そのままの日程が良い」との意見もあり。

総会検討委員会アンケート part2 理由・意見まとめ

- 以前より休日・祝日・連休は増えている 9 月 21 日・22 日などのシルバーウィークはどうか。
- 夏休み期間(8 月)
- 8 月。あえて日曜をはさんで諸教会に礼拝を中継配信してもよいと思う。
- 牧師以外が参加しやすくなるように土日を含めた日程が良いと思う。
- 2 月の火水。
- 土曜日を含む、木金土での開催。かつてトライされたが、すぐに戻されてしまった。トライしたが必ずしも参加が増えなかったということかも知れないが、長い目で見れば土曜日を含む方が参加しやすいと思う。
- 1泊2日でできるように準備する。社会人が参加容易な日程を(金、土など)。
- 祝日や土曜日を入れると信徒が参加しやすくなるのではないかと思います。
- 今年はコロナ禍で集いをもたない形での総会となったが(web、書面での総会)、日数は二日間で終わる総会であって欲しい。
- 1泊2日。
- 選挙が少ない年は1泊2日で金土に開催する。
- 一泊二日で、活動報告、決算報告がタイムリーに実施できるように、8月末までに実施していただきたい。
- 木・金・土 (又は休日利用)。
- 開催地にもよるが、日曜の準備を考えると金曜のうちに帰宅できるのが望ましい。最終便に安心して乗れる環境を思うと、火水木が望ましい。
- 西南学院大学の夏休みあるいは春休みの日程で。
- 現在、参加者の多くは牧師や時間の都合を付けやすい方だと思います。お勤めをしている人なども出席しやすい日程を希望します。11月にこだわらずに、9月や10月で連休も用いることは、いかがでしょうか。
- 新型コロナウイルスの感染の収束が見込めないまま、行うには無理があると思います。
- 牧師教役者以外の参加者が出席できる日程を考えたい。連続する祝日を利用するとか。
- 無牧師教会や牧師が兼職している教会が代議員を派遣できるよう、土日休日の日程が望ましい。開催日程も、なるべく短くすべき。
- 具体案はありませんが、11月にこだわる必要はないと思います。
- できるだけ多くの方が出席できるように(可能性をひろげて)曜日を考える必要があると思います。土曜日とか(日曜の礼拝が気になりますが)、祝日を利用するとか。
- 例年、11月に特別集会、クリスマス諸集会の準備等々がありますので、10月に開催されることを希望します。
- 日曜日でない祝日。
- 私達連盟の定期総会は一般信徒よりも牧師を優先する日程になっている。GWに総会を開催しているために信徒の参加の方が多い「日本ルーテル教会」のように、3日間(?)の日程が比較的に取りやすいGWや8月や連休のときに開催すべきである。
- 1泊2日が良いと思います。時期は、交通費・宿泊費のことを考えると、閑散期に。
- 火水木(遠方の人で途中で帰る人がいるため)。

- 火水木がよい。金は航空料金が高くなる。
- もう少し早い時期に。8月とか。10月とか。
- 火・水・木
- 週の真ん中ではなく、せめて土曜日を最終日として日程を考えて欲しい。
- 平日は3日も仕事を休める人は限られている。
- 具体的な案がないのですが、次世代、次々世代をになう人たち(10~30代)の方々も出席できるような日程だと良いと思います。
- すでに教会のスケジュールに組み込まれているのであまり疑問に思ったことがないが、世間の暦の休日に設定すると移動費が高騰するので難しい気がする。働き方改革で考えると、どんな日程にしたにせよ希望する時期に休暇を取れる労働者の権利が、世の中の常識になることを願っている。また、開催地にも左右されると思う。
- 木、金の一泊二日とし、時間が短縮される分、理事会で済むものは理事会に委ねる。総会の議事を減らす。
- 木、金、土の二泊三日とする。

質問2 今後の総会場所について、適当と思われるものを選び、その理由を教えてください

教会の多い地域での開催(福岡・東京)

- 2020年度で実施する「文書決議」を今後も選択肢の一つとするならば、場所の問題はそもそもなくなる。
- 天城は不便。
- 天城山荘は、理想的な環境ですが、交通手段と費用を考えると不便です。
- 交通便の良さ。
- 代議員を収容できる施設確保の可能性のある都市。開催地変更により出席可能教会の範囲が広がる。
- 連盟加盟教会全体の効率性と合理性を考えて(集まりやすい)。
- 費用が掛からず、アクセスが良く、顔を合わせることができる。ネットの利用は時期尚早。
- 総会開催場所までたどり着く利便性を考えるとき、開催施設の諸設備の問題もあるが、東京 or 福岡での開催が望ましいと考える。
- 天城山荘を活用する必要性があるのは重々承知しているが、遠すぎて、行き帰りだけで疲れてしまう。
- 集まりやすい場所が良いと思います。そうすると、関東、または関西でしょうか。
- 天城山荘までは交通がかなり不便です。往復の時間が掛かりすぎます。
- 天城は交通の便が悪い。

天城山荘での開催

- 会場には特にこだわりがないので。

- 使いなれている。諸活動で自由が効く。
- 協力伝道上、顔を合わせる機会・場が大切。質問Iとも関係するが、短期日で実行する場合は首都圏 or 福岡が良い。
- ・ 天城山荘の経営を助けたいと思います。
・ 天城山荘は連盟にとって聖地的存在なので。
- 会場の変更によって、出席する教会の顔ぶれが大きく変わることは、少し問題があるように思う。それによって、連盟の意志決定にブレが生じることはないでしょうか。
- 場所的にも総会の目的にも広い空間、または参加される方々に余裕が与えられる良い所だと思います。
- 連盟の施設を活用したほうがいい。
- 天城山荘の経営に資するため。
- 行き方をご高齢の方が折角覚えている。
- 実際に顔と顔を見合わせて、経済面を考えると天城山荘がベストか。
- 当教会にとって、距離的に近い。天城山荘経営に資する。
- ・ すべての教会を満足させる場所はないと思います。
・ いろいろ不便もありつつ、それでも天城は便利かも？
- ・ 今までの総会の歴史から考えると慣れているから。
・ 天城山荘の経営難、さらに追い打ちをかける新型コロナウイルスの影響は十分知っているが、直属事業体として何とか存続できる方向で進めたい。総会をすることが経営にプラスとなる。
- (開催会場希望地のアンケートを取って多数の教会が出席できる場所)。天城山荘は遠くて参加するには負担が大きいことがある。しかし、年に一度だし経営が厳しく天城山荘存続の為に協力した方が良くとも考える。総会開催で大切な事は連盟構成教会が多く参加することであるので、迷う所です。
- (教会が多い地域にこだわらず)。出会いと交わりが保てる場所が良いと思います。総会がウェブ開催になったら、別にバプテスト大会などとして、出会いと交わりの機会をもてるように。

ウェブ参加やサテライト会場(本会場と中継で結ぶ会場)での開催

- ①天城山荘は、将来にわたって、使用が可能か否かが不明である。②全体で顔を合せて話し合うことは意義あると思うが、現実には、休息の時間に話し合ったり、交わりを持ったりすることが出来ても、議場で発言出来るのは、特別な人を除けば、数度である。大多数の人が、議論を聞いているだけで一度も発言していないのが現状である。積極的参加は、採決の時に手を上げるくらいである。③ウェブでの総会を有効なものにするには、事前質問を推奨し、それに、事前に丁寧に回答する形で理解を深めておく(事前質問と回答に、参加者がしっかり目を通しておくことが要求される)。この事を踏まえた上で、議論を深めたり、理解を深めるための質問を幾つか受け付ける。
- コロナ禍ですから
- 参加できる教会が増えると思うから。
- これからポストコロナの時代なので、大規模な集会はしばらく差し控えたほうがよいのではない

かと思えます。ただしウェブ参加や書面決議、理事会委託等、コロナがおさまるまでは、集まること自体を慎重に考えたいと思えます。こうする場合は、お互いの信頼が必要だと思えます。

- 開催地が遠距離だと経済的、時間的、体力的な理由で、参加教会、参加者が限定されると思うから。
- 移動時間、交通費の負担を軽減することができるため。
- 会場から距離がある教会は交通費がかかり、総会をやむなく欠席することがあるでしょう。互いに会うことも大切ですが参加できる環境が必要だと思えます。
- 低コスト、参加者の増加が期待できる。
- 基本、天城山荘開催を希望しますが、密を避けるため、参加者最小限にし、他はウェブで参加。
- 集まることは大切だが、繋がることから始めたいと思う。
- WEB 開催にすることで、移動時間や交通費、会場費などが大幅に節約できるから。また、時間的制約や経済的制約などによって今まで参加することが難しかった方も参加することができるようになるから。
- 連合ごとくらいで集まると参加しやすくなる。
- 多くの教会が集うことのできる場所(例 東京都、大阪府)で、WEB 会議参加も認めていただきたい。
- Web やサテライト会場であれば、より多くの教会が参加できると思えます。
- コロナ下での状況でウェブ対応が出来る教会が増しているの。
- 天城山荘だけでなく、参加率を高めるために、天城山荘を本会場、福岡の第 2 会場として、またオンラインで参加できる方法も加えて、バーチャル会場で開催が良いのではと考えます。
- より多くの教会の参加が可能となると思われる。
- コロナウイルス対策のために最善と思われるの。
- ウェブ参加は天城山荘まで行かなくとも参加できるので。

教会の多い地域での開催 & 天城山荘での開催

- 天城山荘を維持しようと考えれば、そこ以外での開催はあり得ない。天城山荘を維持しようと考えない(売却・廃止)ならば、福岡や東京で行うべき。
- ・ 今まで通り天城山荘で開催できるのであれば、それがベストであると思えます。理由は総会会場、食事場所、宿泊場所が集約できていることと、九州、北海道からのほぼ中間点。また、自然の中にあることに大きな価値を感じる。
 - ・ 天城山荘が無理の場合は、福岡、東京で交代で開催するのがよい。その場合、会場や宿泊場所の確保が大変であるし、交通費も高額となり、出席できる代議員が減るのではないか。
 - ・ 総会への出席は、バプテストにとっての大切な議事を審議し、議決に参加する場所ではあるが、1 年ぶりに各教会から 300 名近い方々が集い、交わる大切な場所である。この場に出席できない教会が、ウェブ参加するのは良いと思うが、それをメインとして行われることに反対をします。
 - ・ 他の人の意見:会議の確保や開催コスト、全国の諸教会から参加する労力や移動のコストを考えれば、ウェブ参加やサテライト会場での開催を具体的に検討した方が良いと思いま

す。

- 会場までの交通手段、移動時間を考えれば首都圏での開催が便利。
 - その場合は「ホテルパック」によって宿泊は各自となるため「交わり」が限られていくことが考えられます。
 - 天城山荘での総会は、交通手段、移動時間をはずして考えるといちばん適していると思いますが、コロナ対策に伴う様々な問題があり、現在は天城山荘の利用はかなり難しい。
 - web、サテライト会場への参加も状況によっては必要ですが、原則は「集まる」ことが大切ではないかと思います。
 - web、サテライト会場開催は、総会開催費用を節約できるのではないか。(札幌、仙台、東京又はさいたま、名古屋、金沢、大阪、広島、福岡、札幌)
 - 一番慣れている方法だと思う。
- 天城山荘での開催の場合、新宿あたりから山荘までを何本か用意して欲しい。時と金額の儉約にならないでしょうか。
- 天城の場合、使い勝手がいい。皆慣れている。地方での開催は数年に一度ぐらいの間隔で行うと、また違った意味での参加者が起こされる。
- 天城山荘での開催が心情的には望ましいのですが、1泊2日で行うためには、交通の便のよいところがいいと考えます。

教会の多い地域での開催 & ウェブ参加やサテライト会場での開催

- 時間的距離的な制約がかなり解消できる。ただし設備の手当てや運営スタッフの稼働が増大するデメリットがある
- 多くの教会が出席するため交通の便が良いところで開催したほうが良いと思います。
- 様々な事情で欠席をされている教会が少しでも出席し易いように、すそ野を広くしてあげることが良いのではないかと思います。
- そちらの方が各教会の負担が少ないように思えるから。
- 参加し易くなる。
- 総会の参加が費用の問題なら、安くできる方法を考える事。ウィルスが収束していなければウェブを地方連合で結ぶ方式など考える必要があります。
- 天城山荘を本会場にして、各連合を結び、ウェブ会議にする。天城山荘の会場か、地方連合の集いやすい所で参加する
- 総会開催費用軽減と遠方からの出席促進。
- 移動距離の短縮、ならびに費用節約。
- 牧師&執事は「ウェブ参加」希望が大半。1名のみが福岡東京等。ウェブ参加希望の理由は、移動の労力、旅費・宿泊代等の経費を抑えたいというのが主たる理由。天城山荘は、あまりにアクセスが悪く、会場の椅子も長時間座ることを想定して作られていた椅子ではなく、以前参加した時はお風呂のお湯&シャワーもぬるく、寝具もちょっと・・・で、いろいろな意味で苦行レベルでした(笑)
- コロナウィルスの影響で物理的な移動が困難なケースがある。本来、教会施設のある天城山

荘で行うのが良いのであろうが、伊豆地域で、他地域からの来訪を快く思わない報道が散見されている。

- 遠方のため、福岡県または、交通の便がよい東京での開催を希望いたします。また、コロナ後も、やはり遠方のため、オンラインでの参加も可能にしてもらえると参加しやすくなると思います。
- 九州から丸一日かけて天城山荘へ出かけていましたが、ウェブ参加や複数地域での開催などの可能性を知ることができ、一つでも多くの教会が参加できるように配慮したい。
- 地方からの移動性の悪さ、少数のコアメンバーしか行けない構造、次世代への配慮不足など現状からの対応ではなく、将来への備え、環境を整えて欲しいからです。
- 天城山荘は、交通の便が悪いと感じるため。また、2,3年に一度でも福岡で開催するのなら、その時には、九州で暮らしている者は参加しやすいと思います。
- なるべく交通費を節約して多くの教会が参加できるようになると良いと思うので。
- 天城山荘のアクセスの悪さと宿泊環境の悪さ(三密で雑魚寝)。会議の進行だけについていえば WEB 会議でも問題ないと感じる。交わりという意味では集まる意味があるが、現状の総会は交わりより会議が優先。であれば WEB でよいのではないか。
- 「教会の多い地域」と「ウェブ参加やサテライト会場」の両面をもった総会が望まれます。アクセスのよい会場がベスト(参加しやすい)。ただしウェブ参加などは原則、陪席が妥当。
- 一般教会員が、参加できるようにする。
- 天城山荘は、東京に行くよりも時間がかかり疲れます。交通費と参加費を合わせて1人8万円の負担となります。部屋は、大部屋の為なのでしょうが、申し込みにも性別と年齢を問われます。これは、苦痛です。性的少数者が存在しないかのような対応と思います。むしろ、ホテルに宿泊して、何故個室が必要なのかを誰も説明しなくて済むようにすることを望みます。また、参加教会を増やす為には、ウェブやサテライト会場も良いと思います。
- 現在のコロナウイルス危機状況下では、これまでのように一つの空間に大人数が集まるスタイルは取れない。集まることの意味もあるので、集合できる場所を複数個所確保することと、ウェブ参加との併用が望ましい。
- 交通費の支援を充実させるため、教会の多い地域が本会場になることが望ましい。
- 福岡は教会が多いので集まりやすい。コロナが収束しなければウェブなどで開催することになるのでは…。
- 次世代、次々世代の方々も積極的に参加できると良いと思うので。

天城山荘での開催 & ウェブ参加やサテライト会場での開催

- 天城山荘を本会場に、各地方連合にサテライト会場を設け、すべての教会が総会に、議決権を持って参加できるようにする。
- 天城山荘は私たちバプテストの施設だからです。ウェブやサテライト方式は、全面的に取り入れるか、部分的に取り入れるかは別として、今後は当然の選択肢の一つでしょう。
- 出来る限り参加して頂くために、参加方法を増やすことが良いと思います。一時参加も検討事項と思います。ただし、定数が増えるため、決議に時間が要することを容認する必要があると思います。

- 両方を併用し、事前にウェブ会議などで時間を掛けて審議をし、総会で議決する。
- ・ 場所はこだわらない。少しでも多くの教会が参加できる場所が望ましい。
 - ・ 十字架を掲げ、礼拝堂のある所。心置きなく祈り、賛美できる場所。連盟の行く道を話し合うにはそういう場所が大切。しかし、遠くて参加の難しい教会もあるので、Web やサテライトがあってもいい。尚、そういう作業はプロに依頼するほうが良い。費用はかかるが伝道になる。
- 今迄工夫されてきた総会も、検討が求められている時、今回の新型コロナによって更に背中を押された様です。with コロナも合わせて今後は、弱小教会の信徒の高齢化、経費の問題などで従来の天城山荘・全員参加型総会は困難になると思います。そこで、本会場(天城山荘)とサテライト会場・ウェブ参加によって、より良い開かれた総会を願います。
- 天城山荘が適当と思われるから。
- 今の状況で天城山荘が存続できるか疑問。何らかの方法で存続が可能であれば、やはり天城山荘でやりたい。その上で、ウェブ参加も可能とする方法をとられたらよい。
- 天城山荘の利用促進、WEB は移動の難しい方のため
- 天城山荘の経営のことも考えなければならないので、山荘を本会場としてウェブ参加できないでしょうか。
- (財政等規模の小さい教会の多い地域)。全国から集まる事を考えた時に天城山荘は良いと思うが不便でもある。またウェブ参加やサテライトに関しては、集まることができない場合に良いと思う。ただ、ウェブ参加が技術的にできない教会もあるだろう。

教会の多い地域での開催 & 天城山荘での開催 & ウェブ参加やサテライト会場での開催

- 天城山荘に固定せず、会場・日程など様々な方法を試してもよいのでは？
- 天城山荘での開催を否定しないが、他の場所やウェブでの開催もあって良いと思う。
- コロナ禍によって会議のオンライン化は飛躍的に進展した。これまではどちらかという IT 化が遅れていた教会もこのことをきっかけに取り組むようになったと思う。福岡・東京・天城山荘などのメイン会場に集まることを主軸としつつも、オンライン参加の選択肢は必要であるし、幅広い参加者を得、意見を徴収するためにも有益であると考え。例：8月にオンラインで開催された全国青年大会は、青年層以外の参加者も含め、70名以上が参加した。
- 天城山荘は交通の便が悪く地方から参加するのは大変である。そこで 3 年毎に天城山荘、東京、福岡で開催してはどうでしょうか。また、IT と活用してウェブ参加、サテライト会場も検討してくださることを希望します。
- 本来であるならば、天城山荘での総会が望ましい。しかし、現実天城に集まるのが難しいため、他の場所をと考えた場合、教会の多い地域での開催か、ウェブ開催などにならざるを得ないのではないだろうか。
- 総会に参加しやすい環境を整えることが出来るため。
- 隔年でメイン会場を天城山荘の年と各地方開催の年とにするとよいと思うので。
- 天城山荘を利用者として使用できる状況ならば、天城山荘でもよいと思う(感染症などのリスクがなければ)。天城山荘が使用できない場合は、事務所に近い関東圏がよいと思う。震災や感染症の影響がある場合は、ウェブやサテライトの可能性もあると思う。

- 天城山荘が使えるならば、ゆったりとした時間や交わりを持ちやすい天城山荘が良い。ただ、参加教会をふやすためには web 参加やサテライト会場も設置しても良い。
- ・ (教会の多い地域での開催理由) 夏休み中の開催とする。東京で青山学院や関東学院を会場として使用する。天城山荘は数年に一度にする。
 - ・ (天城山荘での開催理由) 今まで通りが良い。
 - ・ (同上) 天城山荘以外に多人数を収容できる施設を知らないから。
 - ・ (ウェブ参加やサテライト会場での開催理由) 会場費、交通費、宿泊費が軽減できるから。
 - ・ (同上) 天城山荘に行かれない教会が参加できる可能性があるから。
- 新型コロナウイルス禍の中、状況に応じた選択肢があった方が良く思うため。
- (宿泊と食事、協議が行える施設)。どのような形であれ、まずは協議が滞りなく行えることが第一条件かと思えます。総会開催に大きな制限(費用等)が加わることがない限りは天城山荘の利用を継続してゆくと良いように思いますが、それが叶わない状況になった場合は、他の場所(や手段)を考えても良いかと感じます。また、天城山荘での開催であってもなくても、web やサテライト会場などの併用も有りかと思えます。ただこの場合は従来の総会開催に要する準備に加えて議事進行を滞りなく行うためのリソース(人・物・金等)が増えると思われるので、併用の際のメリットと労力等とを天秤にかけることになるかと思えます。
- できることなら天城山荘がよい。教会が多い地域ではなく集まりやすい地域。ウェブ参加などを認める。地方連合ごとに集まり、中継でつなぐ。

その他

- (どこでもよい)。問題は場所ではなく、総会そのものをどのようなものとして開催するか(決議を中心とするか、交わりを中心とするか・・・など)にあると考える。それによって、適切な場所は変わってくると判断する。
- (交通の便が良いところでの開催)。会場から遠いところにある教会からでも一定の時間内で到着できることが望ましいと思います。
- (交通の便が良く、会場の取りやすい所)
- (西南学院大学の施設を用いて)。天城山荘に代わる施設という点で。他の教室や西南学院教会などもお借りして。
- (全国の三つのブロックに分けて、ブロック開催→ブロック代表が集まって行う)。全国から同じ日で集まることは、総会期間が長くなるから
- (東京とその近郊)。アクセスの良いところで開催すると、移動時間を短縮できるし、その地域に教会数も多い。
- (連合の持ち回り)。それぞれの連合の状況を知りうる機会を得たい。
- (連盟事務所)。各地方連合にて選出された代表者数名による総会。
- 天城山荘で続けて開催できるのでしょうか。
- 年毎に色々な地域で行う。(九州、大阪、東京、東北、北海道など)。開催場所を毎年変えることで開催場所に近い教会が出席しやすくなる。ウェブでは地方の無牧師の教会では、ウェブ環境をととのえるのがむずかしい。

- 天城一辺倒も、天城の運営には申し訳ないが現実的ではないと思う。また、ウェブは、やってみないとわからないので、連盟の講演会や会議・研修会など少しずつ試行を重ねてからが現実的ではないか。東京や福岡での開催の方が実現の可能性は高いと思う。

質問3 今後の総会での議決権について、適当と思われるものを選び、その理由を教えてください。

1教会の議決権は1票のみとする

- 教会員の多い少ないに関わらず、一教会一票が公平ではないかと考えます。
- 議案に対して教会での意見を一致させる。
- シンプルでわかりやすいから。
- 教会代表としての意思表示明確化の為。
- 地方の教会や小さな教会は出席できる代議員は1名がほとんどであり、会場近隣の教会や大教会との格差をなくすため。
- これでよいと思います。
- 議決権は各個教会に与えられているべきである。代議員の人数でその権利が増えたり減ったりするのはよくない。
- 連盟に所属するそれぞれの教会が責任をもって議決するため、個人ではなく教会として議決に参加する。
- 教会で同じ一票でよいと思うため。
- 加盟教会の間に議決権で差があってはならない。ただし、一教会一票となると、総会出席者に変化がおこるであろう。

役職上の代議員(理事、監事、総会役員)は、議決権を有しない

- 恣意的な思いが働くことを、極力事前に取り除いておくことはよいのではと思います。
- 現状でも良いが、執行機関的立場との位置づけのほうが良いのでは。
- 日本バプテスト連盟は、加盟教会が主体であるはずでした。本来、理事会は、加盟教会が職務を委託した方々にすぎません。加盟教会の意に従って理事会は行動して頂く必要があります。加盟教会の中には貧困を理由に総会に参加できない加盟教会も多くあるという現状があります。ですから、理事の方々が加盟教会の代議員を兼ね、経済的優遇を受けて総会に参加した上で、さらに議決権を行使することはどうかと思います。

書面での議決権行使を認める

- 基本的に現状でよいと思います。
- 欠席教会については、書面での議決権行使を認める。
- 総会に出席できない教会にも、意思表示の機会を与えることになり、参加意欲を高めることにつながっていくと思う。

- 議決権を有しないとは、役職で参加する人は代議員にはならないということとでしょうか。そうであるなら理事の場合は提案者でもあるので、議決に参加しないというのは不自然ではないかと思います。監事、総会役員などは代議員でなくてもよいかもしれません。
- 諸種の理由で総会の場に出席できなくても、連盟に加盟する一教会として、積極的に参加していただき、連盟の歩みにしっかり責任を持って議決していただきたい。
- 一般的な民主主義(多数決原理)による議決とイエス・キリストの行動原理(少数弱者の側に立つ)とは、異なる。キリスト者の判断がイエス・キリストの視点に立って多数である事を前提にしていると思うが、疑問である。では、どのような方法で結論を得て行動するのか、具体的な方法を示せないのが多数決によるが、信仰団体なので決議には時間をかけなければならないが、総会の限られた時間では難しい。この考え方は議決権の質問にも関連していると思う。
- 書面議決ができれば、代議員を一人も送れない教会と3人送れる教会との決定権(?)の格差が無くなると思うから。他教会への委任を認めると、自分の教会への委任を集める教会が出てくるように思う。
- 参加できない方々の意思表示として、書面議決を加えるとよいと思います。当日の動議にリンクできないなど会場と異なるかもしれませんが、教会で議題を十分吟味することで、意思表示は出来ると思います。そのためには当日配布を極力減らすことと、誤字脱字修正などが無いことが条件となるため、準備にいままで以上に時間が要することが懸念材料かもしれません。
- 「書面」は緊急時(何らかの理由で集まる事が不可能になったとき)のみ。
- やむを得ず欠席する教会にも、権利を行使する機会を与える。
- 物理的に出席できない場合でも教会としての意見を反映させることが出来るから。
- 今後、一箇所に集まったの総会が再開されても、財政上の問題や距離的な問題で代議員を派遣できない地方教会が増えることが考えられる。書面での参加を可能にすれば、より多くの教会の意見を反映できると感じる。
- 議決は、20回ぐらいあるでしょうから、その度に議場で話し合っただけで教会の意志を1つにするのは難しいと思います。出席出来ない教会が意志を表すには、必要だと思います。
- 総会で議決権を行使する機会にアクセスしやすくするため。
- 集まる事が困難な状況が続くのではないかと思うから。
- 議決権は、これまでの基準を保持していただきたい。なお、出席できない場合には書面議決を認めていただきたい
- 書面での議決権については限定して
- 諸事情により総会参加できない教会には「書面での議決」をしていただくようにする。
- ウェブ参加ができない教会も含めて、議決できるように。
- 諸教会の状況(予算、人数など)が異なるため、別の選択肢があっても良いと思うため。

1教会の議決権は1票のみとする & 役職上の代議員は、議決権を有しない

- バプテスト教会の趣旨から1教会 1票が良い。役職上の参加者は提案側であるので、参加はするが議決権はない。
- 諸教会の代表性を生かして教会中心の総会が出来ればと思います。

- 決議事項の提案者や、議場不在になる役職にあるから。
- 教会間の格差を無くす。客観性が高まる議決となる。
- 1教会からの代議員も1名でよいと思う(スリム化)。欠席ではなく、委任状(議場に委任)の提出を認める。
- 1つ1つの教会が格差なく平等であるため。

1教会の議決権は1票のみとする & 書面での議決権行使を認める

- 多くの教会が1名しか出せないのに不公平である。出席できない教会の議決権も与える。
- 連盟総会は元々、教会単位での参加なので、1教会1票の議決権は分かり易い。
- 当該教会での事前協議により投票すべきで、個人的な意見を排除するため。
- ウェブを利用できない教会もあるでしょうから。
- 連盟は教会単位での加盟なので規模の大小にかかわらず『1教会1議決権』で良いと思う。その際、役職上の代議員に選ばれた者しか派遣できない教会の議決権を担保する必要がある。他教会への委任は『1教会2議決権』になるので委任ではなくむしろ書面での議決権行使とするのが良いと思う。
- 教会の大小にかかわらず議決権を1票とすることによって平等性を担保できる。今回のような(コロナ禍)場合が再びないとは限らないこと、また、財政規模の小さい教会が(議員を派遣できない)議決に参加することができるよう、書面での議決権行使を認めるべきだと考える。
- 書面の場合は、どなたも議決に参加が可能であるため。ただし、その場合は作業が大変になると思います。
- 教会によっては代議員を1名しか派遣できない教会もあります。連盟加盟している教会すべてに公平性ある総会の議決となればと願います。
- 総会に全加盟している教会が出席出来るように配慮が必要だと思います。参加費は無料とする程度まで、または、書面で委任か、賛成の意見を表せるようにする。
- 人数の多い少ないではなく、一つ一つ、それぞれの教会の意見が明確になるように思えます。
- 総会参加者だけの議決となると(参加者の多い)関東地区の意見が反映される恐れがある。そこで様々な事情で参加できない地方の教会にも議決権があることが望ましい。
- 各教会が一票を投じる重さを覚えて。
- 書面での議決権行使を認めた上で、1教会1議決権で、公平さを求めます。
- どうしても出席不可能な教会に、書面での議決権を認めることは必要と考えます。
- 1教会総意として必ず投票することを願う。
- 今後の総会のあり方として、何より多くの教会の意見を反映させるということが重要になるのだと思う。その際、書面やウェブでの意見の引き上げが必要だと思うし、各教会の持つ投票権の平等性も重要になってくるのではないだろうか。
- 代議員登録が多ければ有利に働くのはおかしい。一教会一議席とする必要があるのではないか。書面での議決権行使があれば、総会をもっと有効に行うことが出来るのではないか。
- 他教会への委任は各個教会主義に反しないか。委任状の争奪戦が起き、分断がおきやすくないか。連盟加盟は教会ごとなので、一教会一票で良いと思う。役職上の代議員も提出議案

以外で意思表示ができたほうが良いのではないかと。動議や修正動議に賛成・反対できるようにすべきではないか。

- 書面での議決権行使は、できるだけ多くの意志表示ができる権利を保障。
- 出席者の多い教会が力を持つことに不公平を感じる。むしろ出席できない教会の意志をくみ上げるような総会にしたい。
- 加盟教会間の議決権の格差をなくすため。また、前者を採用しない場合は「書面での議決権を認める」ことでその場にいない代議員の議決権を有効にすることで議決権の格差是正に寄与するから。
- 連盟加盟教会の議決に関する公平性を考えると、「教会」票で良いと考える。「文書決議」や「オンライン開催」を視野に入れるならば、なおさらである。
- 教会規模の大小にかかわらず議決権の重さは共通のほうが良いと思う。書面での議決権については、総会に参加したくてもどうしても参加できない場合、集まること自体できない場合に備えて認めたほうが良いと思う。
- 教会の規模ではなく、各加盟教会を一つの単位として。
- 「1教会の議決権は1票」の理由は費用も無く人数も少ない教会は参加できず意見が反映されにくいと思われるため。「書面での議決権行使を認める」の理由は、参加できない教会の意志を少しでも反映させるため。
- 代議員ベースであると代議員の多く出せる教会が有利となることと、教会での意思決定なので、「教会」票で良いと思います。
- ・ (1教会1票) 教会代表として出席しているから。独立した教会だから(平等)。
・ (書面での議決権行使) 会場に行かなくても、書面にて議決権を行使できる。教会財政が厳しくなっている状況で、参加費用の捻出が厳しい教会があるのではないかと思う。
- 賛否に偏りが出にくいのではないかと。また、より多くの教会が議決権を行使できる。
- 教会の議決の平等性や公正性を確保するには、議決権を1教会1票とし、どうしても出席できない教会は、他教会への委任も認める方法が良いのではないのでしょうか。
- 1教会1票とする方が公平性を保てると思います。

役職上の代議員は、議決権を有しない & 書面での議決権行使を認める

- 現在の
 - ・ 天城の総会に参加できない教会(現在約100教会)が議決に参加できない。
 - ・ 信徒の多い教会も、少人数の教会も議席数は同じ。という内容を改革していくべき。
- 総会に出席できない教会の、書面での総会出席が望ましいし、議決への参加が必要。

他教会への委任を認める & 書面での議決権行使を認める

- 出席の幅が広がる(多数の意志表示の機会が増える)。
- 出席できない教会にとっては良いと思う。
- ・ 他教会への委任を認めるようにすれば、地域の教会同士で話し合うことができる。

- ・ 書面での議決権行使はやむを得ない場合に限る。
- ・ 1教会 2票までにしては？ ※1票では教会からの参加の牧師のみに偏る懸念がある。

1教会の議決権は1票のみとする & 役職上の代議員は、議決権を有しない & 書面での議決権行使を認める

- 代議員を多く送り込める教会が人数分議決権を持つのは公平性に欠ける為。又書面での議決権が認められれば、財政的事情で参加を見送っていた教会も参加できるようになり、総会の間口も広がると考えられる。
- ・ 個人での参加でなく、教会の代議員としての参加であるため。
・ 理事、監事、総会役員は提案側、総会運営側なので。
・ webによる参加総会が議決権を行使する場合より制約が伴うとしても書面による議決権の行使に道を拓いていただきたいです。(各教会、伝道所の参加を促がすため)
・ 信徒の高齢化に伴い、出席したくても移動しづらいのではないかと。
- いままでの人間が体をはこんで議決することの意味も大いに感じていますが、別の方法をチャレンジしてみたい。
- バプテストの各教会主義に即していると思う。
- 「他教会への委任という選択肢」がなぜあるのか？ 書面議決権はオンライン参加を前提として、教会としての議決意思は1つが当然。
- 議決権は、教会に平等に持たせたい。
- 代議員を送りたくても、送れない。或いは、代議員を送ったとしても1名のみという教会が、地方には多いと思います。逆に言えば、車に同乗して行ける関東圏などの教会や代議員3名を送ることが出来る経済的余裕がある教会の意見や意思が、より多く反映されていると思います。また、おもに議案提案者側となる方々には、議決権は要らないと考えます。書面での議決は、より多くの意見や意向を取り入れる為には、良いと思います。
- 総会の議事をシンプルにするためには、1教会1票でも良いと思う。ただ同じ教会の代議員で議案によっては賛否が分かれることがあることをどう考えるかが課題である。参加しにくい教会のことを考えると、書面での議決権行使はあっても良い。

1教会の議決権は1票のみとする & 他教会への委任を認める & 書面での議決権行使を認める

- 今はコロナ以前とは違うので、もっと柔軟な考え方で対応するべきだと思います。
- 原則論に立つならば、複数代議員を送り出す教会は事前に個別議題に対して統一した対応をすべきだと考えるが、現実的にそうしたことはなされていないのではないかと。1教会1票とし、他教会への委任も認めるが、一括委任ではなく、議題ごとにきちんと賛否を示す形での委任が望ましい。

1教会の議決権は1票のみとする & 役職上の代議員は、議決権を有しない & 他教会への委任を認める & 書面での議決権行使を認める

- できるだけ多くの教会が参加できるようにするため。

- 公正・平等を保つためにも一教会一票、役職上の代議員に議決権を持たせないことが望ましいと思います。書面での議決権行使はぜひ実現させて欲しいです。総会を成立させるためには他教会への委任も認めると良いと思います。
- 「他教会へ」は、毎年出席というわけにはいかない場合があるため、その対応として。
- (特に選挙に関しては在宅投票できるようにしたい)。多くの教会の総会参加を可能とするため。

その他

- (1教会3票)。教会員の主体性を育むため。(教役者だけの参加を防ぐ)。
- (1教会の議決権は、1票のみとまでは言わないが数の制限を設ける)。参加者のほとんどが教役者のため、1教会1票では会衆主義としてのあり方に疑問が残ります。他教会への委任はあまり賛成できません。書面での議決権については、このコロナ危機の中においては理解できますが、文章のみでは理解できない部分についての確認はどうするのでしょうか？ 個人的に、手紙などで相手に意図が伝わらず失敗した経験があるので限界があるかと思います。議事のやり取りを見聞きしてこそその総会なのではないでしょうか。
- (ウェブでの議決権行使)。実際に総会に出席していることが議決権行使の条件。
- (オンライン議決も選択肢の一つとして検討する)。開催場所の件にもつながるが、オンライン参加を実施するのであれば、議決についてもオンラインが可能性として考えられる。
- (一教会の議決権は二票以上で平等にする)。教会間で議決に関する力の不均衡が起きないように代議員数を平等にすることは賛成です。しかしそれをひとつに限定してしまうと、教会内で多様な意見がある事を認めない形になってしまいます。必ずしも教会単位で賛否を統一しなくても良いのではないかと考えました。
- (議決権は今まで通りでもかまわない)。例えば、当選者が限定されるなどの問題は上記で解決ができるかは不透明。
- (現行のまま)。異なる少数意見も大事にしたい。
- (現在の議決方法で良いと思う)。現在も議決票数は統一。一票ずつは少ないと思う。
- (今までで良い)。今までのことに問題があったら、教えて欲しい。
- (上記事項にすべて賛同しない)。現行のとおり総会参加代議員(理事、監事、総会役員を含む)全員に議決権を与える。
- 諸教会がつながれる範囲が連盟単位でなく連合単位くらいが近いように思います。
- 議決権のことなど、考えたことがない。
- 代議員を3名送り出している教会と1名だけ送り出している教会との1票の重みの差を考えると、1教会の議決権を1票のみにするという意見も有りかとも思う反面、1教会1代議員の場合は教会の意思よりも個人的な思いが優先されやすくなる場合もあり、1教会1代議員を手放して賛成できない部分もあります。他教会への委任を認めた場合、連盟につながる教会としての意識が薄れてゆくのではないかと感じます。書面での議決権行使も同様に、総会参加意識が薄れてゆくように感じます。役職上の代議員の議決権有無ですが、その役職上の代議員が当該教会で唯一の代議員となる場合もありうると思いますので、そこをどう考えるかにもよるかと思います。

- 1教会代議員を2名までとする。(牧師と非牧師、ジェンダーバランス等を考慮して)。ただし、役職上の代議員も、教会の代議員枠に含めることとする(1教会2名以上の役職者がいないようにする前提)。
- まず、質問として、役職上どうあれ、議決権がなければ代議員と呼称してよいのでしょうか？ 書面はありだと思えます。参加の窓口を広げたことになるからです。委任は特定の教会の偏りの恐れはないのか、慎重に考えたい。議決権 1 票も、教会の多様性を担保するのに難しいと思う。

質問4 各議題について、今後の総会での《審議の方法》と《決議の方法》としてふさわしいと思うものをそれぞれ選び、その理由を教えてください。

- 議事内容をウェブで行った場合のイメージが湧きにくい。
- 規約の改定・変更や、お金の動きに関わることはちゃんと確認したい。オンラインでの審議は参加者数が多いと議事の進行が難しくなるのではないかと心配はある。うまくできる技術があるなら良いのですが…。
- 基本的には議場での審議、決議が好ましいと思えます。
- 書面での事前審議と議場での審議の振り分けにより、総会の簡素化を図っていく。同時に各教会内での情報の共有・浸透がかなり限定されている現状を打開していく工夫も考慮していく。
- 総会に出たことがないのでなんとも言えませんが、とりあえず選択してみたといった感じです。
- 連盟の骨格に関わるものは諸教会が責任ある立ち位置を保つためにも全体討論無しに決められない。事務的に処理できるものに関しては書類承認が合理的。時々見かける会計書類の見方を議場で質問するなどというのは愚の骨頂。
- すでに終わった前期の活動や決算については事前に書面等で審議し、決議だけを総会の場で行うことで、これからの計画や予算の審議に時間を用いることができると考える。
- できれば議場に集まって全体で審議し、総会議場で決議することが望ましいと思えます。しかし、集まることが困難になれば、オンライン上での審議や、それに沿った決議も考えなければならないのではないかと思います。
- 基本的に全て事前質問や意見を積極的に行うべきだと考える。議場の審議は、報告よりも計画に時間を割くべき。特に活動基本方針は、活動の基盤。総会だけで決めるのではなく、オンラインの審議や公開討論を踏まえた上で、総会にかけるべき。規約や規則、教会加盟、声明文については、全体に周知するという意味で、議場にて審議されることが大事だと考える。
- 事前に報告書、議案書、監査報告書などは送付されており、審議することがらについて、前もって考える時間は充分にあるので、事前に質問、意見を出すことがよいと思う。ただし、その質問、意見の提出を当日まで受け付け、会場において答弁することが望ましいと思う。
- 「総会の議場で審議」というのが、ウェブ会議は含まれていないということですので、「j) その他」にしました。連盟総会をウェブで行なってみたらどうでしょうか？ 協力体としての基本的なところのみ、事前質問と回答を提示した上で、議論をして、決議をする。その他は、書面での事前決議にする。その事で時間も短くなるし、討論も十分に出来るのではないかと。また、交通費、宿泊

費等の必要が無くなると、財政の厳しい教会も連盟総会に出席出来るのではないのでしょうか。

- 審議事項と報告事項に区分して審議事項を優先して集中的かつ効果的に議論すべきである。また各地方連合総会などを活用して疑問点や課題等を抽出して集約し、総会に出席した方がより効率的に議事運営がなされると思われる。
- 総会は 1, 議場参加型 2, 書類審議参加型 3, オンライン審議参加型 すべての方法により、総会の審議・決議に参加できる。どれも可とする方法が取られれば良いと考えます。又、議題を少なくし、審議方法・決議を簡略化できないものかと考えますが、新様式に改革しなければ難しいように思えます。
- すべての決議を、教会を代表した議員がじっくりと話し合うことができれば一番良いのですが、現状では時間が足りずに大切な議案に時間をかけることができていると感じます。そのため事前に書面による審議を行うことも考えられると思います。ただ、今回のような新型コロナウイルスの感染拡大防止という重大な理由もなく、書面による事前の決議はできるだけ避けたほうがよいのではないかと思います。300以上の教会・伝道所によるオンラインの審議が行えるのでしょうか。
- あくまでもコロナ禍においてです。終息すれば昨年度までと同じでよいと思います。
- いずれも内容によっては従来通りの『議場での審議・決議』とすべきであるし、内容によっては『審議も決議も不要(理事会決議)の報告』なものもあるかと思うので無選択。いっそのこと議案書送付時に『この議案は審議を必要とするかしないか』のアンケートを議案毎に取り、一定数以上の要望がなければ議場では決議だけで取り扱うとかでも良いかと。
- 規約変更、連盟加盟といった最重要課題(と私が考える)ものだけを議場での決議とし、他のは書面を用いることによって議事進行の簡略化、時間の節約ができるのではないかと。オンラインによる会議も有効であることが実証されたと考えられ、これを用いることによって議事進行の効率化を図ることができると思う。
- a…今まで通り／b…今もしているのではないかと／c…時間があれば、多くの質問や意見を受け付けてほしい／d…今もされています／e…どうにもならないときはこうするしかない／f…すべて、総会の議決として、その差がないようにしてほしい
 - ・ 総会議決は、皆同じ形で、差がないようにしてほしい。
 - ・ 総会議案とされたからには、皆同じ重さと思います。
- 基本的に、全員が討議できる方法を選択したいと考えます。
- 基本決議においては議場にて決をとることが望ましいと思います。ですが欠席をする教会が多い(委任状は提出しているが)のも現実の問題です。当日総会に出席できない事情がある教会においても審議に参加できるような環境を少しずつ整えていくことが大切だと思います。
- 次期の活動については議案として出されたものを賛成か反対しかないのが現状で、反対で否決されると活動停止となるわけで、一括決議をすることでこのようにならざるを得ないわけですが、個々に決議できるものは、面倒でも一つ一つ採決するなり、基本となる次期活動案に対して、十分な意見が出せるようにして頂くと良いかと思います。
- 事前質問がより有効に機能したらと思います。また、前に向かって思いを一つすること(過程も含めて)を大切に。

- 総会では重要案件のみ審議・決議(書面による決議も含む)をすることで、十分な審議時間を設けることができると思います。報告事項は、事前質問、当日質問を設け、一括で承認することで他の案件に時間を割り当てられることができると思います。
- 今後オンラインによる審議や決議が現状に適しているように思います。活動計画や連盟加入においては、共に集い、審議決議する議事が良いと思います。
- 総会では限られた時間内で決議事項が多く、常に時間に追われます。従って、書面決議できるものは事前に決議しておくことにより、時間短縮と共に限られた時間を有効に用いることができます。大切な時を穏やかで平安に話し合えます。
- 総会日程の短縮を図るため、総会議場で決議を可能な限り少なくする方が良いと思います。総会は宿泊を伴わず、1日で完了する日程が望ましいと考えます。また書面での事前決議は、教会員の意見も反映可能と思われる。
- 「相応しさ」は判断が難しいです。審議・決議内容によって b~f を選択することは必要かと思えます。基本は a・g を願うが、やむを得ず b~f、h~j の方法を選択することが念頭にあって良いかと思えます。
- 何より望ましいのは、総会での審議と決議だと思いが、それができない場合、書面による審議、決議、オンラインによる審議、決議になると思う。その際、内容によっては書面で決めていくか、オンラインによるかが分かれるのではないかと思う。
- ・ 書面による事前質問、意見提出により、審議時間の短縮をはかり(1)(2)(5)(6)(8)(9)等重要なことについての審議と決議に時間をとれるようにする。
 - ・ 各ブロックで、各教会から書面による事前質問及び意見を審議したものと、全体の総会にて決議していくやり方でオンライン参加することにより、移動にかかる諸教会の負担が軽減されると思う。
- 事前に書面で質問し、それをオンラインで公開審議、修正した案を書面決議としてはどうか。現状では原案のまま可決されることが多い。議論と決議の間に時間があり、提案者が修正したものが決議されるのがよいと思う。その点で、オンラインで審議後に書面による決議がよいと思う。集まるための移動時間をオンラインでの審議時間に変えて欲しい。
- 審議するのは決議のためである。この二つを分離して考えるのはおかしい。よって、回答できず。他の人が審議したことを決議できますか？ 審議のプロセスや内容も分からずに。
- すべての議題を全体で行うことは、議論の深まりに繋がっていないと思う。報告は代表質問や分科会で終え、これからのことを全体で共有していくことができたらよいと思う。
- 事前に書面で済ませられるものは時間短縮のためにそのようにしたほうが良いと思うから。
- ・ 議場で全体討議をする議案を減らすことで 2泊3日の日程は必要なくなる(1泊2日程度、金・土とする)。
 - ・ (2)については、どちらかと言うと加盟を喜ぶというセレモニー的な性格が強いが、それだけに議場でやった方がよいと思う。
 - ・ (6)(7)については、議場での提案説明は不要。議論の時間を増やしたい。
- 総会議場での審議によって、賛否が判断される議案や、連盟の存在が問われる議案に関しては、議場での決議を経ることが望ましいと考える。それ以外は、文書での決議でも十分成立する

と思われる。審議方法に関しては、一点集中ではなく、複数かつ何段階かのアクセスを用意しても良いのではないかと考える。ただし、当然ながら、実現可能であることが前提となる。

- 報告などは事前に審議し、決議してしまう。むしろ計画などに議場での審議の時間を使えるように。また、決議は報告承認以外は議場で丁寧に行うほうが良いと思いました。
- ・ 基本としては、議場において審議し、決議することがよいのではないか。
 - ・ この度(コロナなど)のような状況では他の方法も必要。
- 活動報告から予算案の議案については、いつも総会の場では発言できる人数が限られてしまい、時間切れになってしまうので、分科会、書面で審議し、決議は総会の場でするものと参加できない教会のために書面により議決も加えた方が良いと考えます。
- ・ 事前に質問意見を捻出してもらうことで議事が進めやすい。
 - ・ 総会時間が短縮できるのではないか。
 - ・ 現状のままで何の問題もないと思う。B では事前の準備が必要であり、C では誰が行うかなどの選定が必要であり、かえってややこしくなるから。
- 重要な案件については、総会議場(オンライン・システム可)の決議が必要です。報告案件や声明文採択は、書面等での承認でよいと思います。
- 議場での審議時間を約めて決議をすることで不要な議論を減らし、その分、諸教会伝道所の方々との交わりを増やしたらどうかと思います。
- 総会議場を開設できる状況が来れば、当然、議場での審議がバプテストに相応しいが、それが叶わない期間は書面決議もやむを得ない。なお、総会の場に代議員を送ることができない教会に対して総会への参加を促す意味では、議場開設が可能となった以降も、代議員の挙手と書面決議とを同じ1票と考えたい。
- 1~7は法人として重要。8~9は理事会で行う。
- <<審議の方法>>に関しては非対面、<<決議の方法>>は出来るだけ公開的に行う方が良いと思われます。
- 声明文採択は専門性を必要とするので、決議事項としない。
- 時間短縮の為、オンラインと書面等を活用する。
- 総会は原則、代議員が集まって、一緒に審議し、決議するものだ理解します。(連盟の根幹にかかわる①②⑨は全体で審議決議が必要)。ただし③~⑦はこれまでの通り、事前に質問・意見を整理して代表質問等の討論をして決議するスリム化は大事かと思えます。
- 書面(今回のようなネット上も可)で事前質問&意見を受付け、その解答を総会前に配布(連盟HP掲載でも可)していただければ、審議もかなりスムーズになるかと。※準備側の仕事量が増えるのが恐縮。決議については、議場での議論が必要なもの、文書における事前決議で済む議案に分け、効率を上げていくしかないように思います。又総会を、2回に分けて行ってもよいかもしれません。例えば1回目は、昨年度の活動報告・決算報告等、軽微な規則変更等の議案にし、且つ書面による決議のみとする。2回目は、ウェブなりサテライトなり、集まるなりして、議論を深めて決議していく議案に絞るといった感じで。ただ2回目も、事前に質問&意見は受けておくのは有意義な議論の為に必須かと。
- ・ バプテスト連盟は総会を最高決議機関として「集まる」ことを重視しています。

- ・ 原則は議場に参加しての審議、決議だと思いますが、不測の事態のときは書面決議、web参加による総会をする。
 - ・ (1)(2)(5)(9)は連盟の存在にかかわる案件のため、これまでと同じ決め方が良いと思います。加盟審議は励ましになるので特に。
 - ・ (3)(4)(6)(7)は議場のみで討議するには論点が多岐にわたるので、国内伝道／国外伝道／総務／財務(長期会計)／人材育成(青少年、伝道者養成)などの分科会を設けて、担当理事で手分けした方が効果的です。
 - ・ (8)は提案支持します。教会提案の場合もあるので決議は必要です。
 - ・ 最重要案件と思われるものについては、それなりに慎重に対処していく必要があると思います。
 - 審議の時間を有効にするために、総会場での議案数を減らす。十分に審議すべき項目を、しっかり審議する。項目(9)の様な事は、理事会での審議で、案を書面で各教会に通知して、賛否を問う方が良いと思う(時間の節約)。
 - 本当に集まる必要があるのか、ないのかで判断。
 - 動議で修正することを想定する議案だけを総会で議決してほしいです。それ以外は、事前の書類にて、専門性のある方がレビューコメント頂いて、修正に応じてくれているならば、書類にて議決してよいと思います。活動報告は文書として出ているならば、それを活動計画のためのもと資料となりますので、ここに時間をかける必要はありません。また、声明については、「代表役員」名と連盟の実印を使って発信する場合以外は、割愛ください。
 - 上記の件については、簡単に答えることは出来ません。簡単に答えたり、単純に振り分ける事によって、おかしい結論に行き着くのではないかと危惧するからです。
 - 年に一度、連盟加盟の諸教会の代表が集まるのに、ほぼ議案だけの総会日程ではなく、全体で講演を聞いて学ぶ研修の機会やいくつかの大事なテーマのための分科会や広く交わりの機会をもつために、議事時間は減らして、大事なことがら各審査委員会の審査によりその報告をふまえて理事会で(3)(4)(6)(7)(9)などは決議し、総会には報告をする。もちろん報告の際の質疑応答はあっても良い。ただし活動基本方針は連盟の根幹をなすようなものであり、十分に時間を掛けて議論した方が良い。ちなみに、西南学院大学の専任教員全体の「連合教授会」は、ほとんどが報告となっており、根本的な規程改訂については議案となっている。(10年ほど前に規程改訂をした)。又、西南学院が加盟している「キリスト教学校教育同盟」は、数年前に、理事会で決定し、年時総会ではほとんど報告事項とするように改訂した。
 - 活動、予算、等基本的なことは、議場で話し合った方がいい。
 - 併用できるものについては複数回答をします。
(1) a△, b○, d○, e○ (3) a△, d○ (4) a△, d○
(5) a,△ b○, d○, e○ (6) a,△ b○, d○, e○
(7) a,△ b○, d○, e○ (8) a,△ b○, d○ (9) a,△ b○, d○
- (2)については加盟を喜び交わりの時とすることのみで良いでしょう。(5)～(7)については、すでに始まっている活動もあり、質問等に答える程度で決議しないことにすれば時間短縮にもなります。(8)については、時宜にかなったものでないと意味がないので、議案にせず紹介にと

どめて良いと思います。

- 議題の中味の差違、性格などを勘案すると、こんなところかなと考えての選択です。こまかな理由としては逐一あげきれません。
- 議場では加盟審議&決議だけでよい。政治的な色合いの強い声明文は、各個教会が出すのは構わないが、加盟教会のバプテストの自由を脅かしたり分断したりしかねないものなので、そもそも連盟として世に出すべきではない。
- 連盟に加盟している諸教会は、協力伝道献金をすると共に、実際に総会に出席することが協力伝道の二つ目の重要な事項だと考えるから。何事も総会で決議することだと考える。ただし、今回のようなコロナ危機の中で、ウェブという方法があることがわかったので、それによって参加することは時間を共有し意見の交換もできるので、よいかと考える。それから、審議の仕方については、会計など、数字を読めない方もおられるので、そこらがよくわかる方々で意見をまず戦わせていただき、それから、他の代議員も会議に加わるといような方法がよいかと思う。つまり、その道の人でないによく理解できない内容は、まず、代表者をたて、意見を戦わせそれから一般の代議員も加わるようにする。
- 基本的には全体審議が望ましいが、オンライン会議も視野に入れる。また活動計画案については分野ごとに分かれて議論を深めることも有益だと考える。それによって全体審議では得られない、議論の深みが出ることを期待する。
- やっぱりできるだけみんなでやりたいと思います。
- そんなに考えはありません。時間がゆるせば今まで通りで良いのですが。
- 種々多様な意見が提案されることを期待したい。
- 報告・決算は書面による質問と回答を前提にして全体決議で良いかもしれない。計画と予算はやはり全体審議をした方が良かった。
- 公の場で、皆の意見を聞きながら、他の教会の働きが参考になるから。
- ・ 基本的に連盟総会は代議員全員が一同集い、審議し、決議するものと理解しています。
・ 現行では、予算審査委員会をもってしても予算案の修正ができないので、dでよいと思います。
・ コロナ危機の現状はやむを得ませんが、インターネット環境が整わない教会・伝道所を考えると将来的に総会のオンライン化は疑問です。
- ・ 総会欠席教会の事前の意向・意見・決議を認める(d,h)。
・ (9)連盟出捐不動産処分は、書面による事前の意向と意見は受けるが、審議と決議は「理事会」(f,j)。
・ (3)、(4)に関しては、既に終了していることであり、業務監査報告でも相当程度検証されているので(d)でいいように思います。
・ (5)、(6)、(7)に関しては、これからのことなので、十分な審議が必要と思われます。ただし、予算審査委員会が事前に吟味してくれていますので、それを活用されれば十分であるように思います。
- 連盟加盟は総会でも最重要案件の一つだと思います。一つひとつの教会が、自分たちが連盟加盟している原点を忘れないためにも、全体での決議がよいと思います。その他についてはあまり

熟慮した答えではないので矛盾しているかもしれません。

- 今後の活動基本方針、活動計画案、予算案を審議する時間を十分に割くことが重要と考える。昨今の総会は、時間が極端に制限されていて、消化不良のまま下山することが多いと思う。
- 従来総会では日程上の限界、また手続の簡素化など試行錯誤されていると思うが、今迄の方法に慣れていることもある事やその他の提案ではそれなりの問題が出て来るのではないかとと思われるので、今迄通りの総会開催を願う。審議時間の削減や手続の簡素化を選択したら、連盟内の事情に通じた限られたメンバーで物事が進んで行くことを案じる。新しく連盟に加えられる牧師や執事など教会を代表する方々にも連盟が総会で協議し、決議しなければならない問題を共有し合うことが必要だと思われるからである。
- 各報告については書面を見ることを大前提とし、読み上げることは割愛しても良いと思います。時間を短縮することで、議論の時間を増やすことの方が良いと思います。分科会も一つの方法と思いますが、こちらはプロジェクトの実施や分かち合いにし、議論をすることには不向きと感じます。また、書面決議のためには事前質問とその回答を、郵送やメールなどで周知することも必要です。議題ごとに複数の議決方法を用意すると時間がかかるので、書面等で事前決議したものは議場での決議にはしないというように、議決方法を一本化するほうが良いと考えます。連盟としては急な課題もあることでしょう。この場合には、WEBのみ、または書面のみによる臨時総会を実施できるように整えることも検討課題と考えます。
- 私の問題かもしれないが、「審議」と「決議」を議場で行わないメリットがあまり思いつかなかった。
- 時間短縮のため、事前に書面によって質問、意見を出す。
- 総会での決議というのはどうしても予定調和的にならざるを得ないから。
- 限られた時間の中で、大事な議案について審議するには、代表質問という形があってもいいと思います。また、その場合には、質疑応答がなされて深く審議して欲しくもあります。現行は、質問者が順番に質問して、それを受けてまとめて答弁されて、その答弁に再質問したくても、出来にくいシステムになっています。代表者による質問となると、質問者が限られて時間の節約がはかれますが、代表者による再質問によって、審議を深めて欲しいという思いがあります。
- 議場において、「特に議論が必要だと予想される特定の議題」に関しての議論を深めるために、「事前に質疑応答を済ませておいて、議場ではもう議論を行わない議題」を設定することも必要だと考えます。
- 議論の時間を有効に用いるために、これからのことを審議することに時間をかけたい。
- 総会での審議、決議は全体で実施する必要がある。総会の審議、決議がスムーズに行われるために、議案を早期に送付し、議案に対する事前質問、意見などを集め、総会当日にいていねいに説明した後に、審議、決議に移る等の工夫が必要である。
- 事前資料配布で、事前決議できるものは行い、議場決議を減らす。
- a 以外はイメージしにくいですが、これからのことについては、できるだけ集まって決議した方が良く思うため。
- 書面における事前審議の方が考える時間の余裕があり、総会での時間短縮にもなるため。
- 一カ所一回の会議が簡潔でよい。

- 状況に応じて様々あってよいと思う。
- ・ 報告部分は簡略化すべき。
 - ・ 議事は基本、オンラインで公開するのがよいが、オンラインでの審議は議事が複雑になるので無理ではないか。
 - ・ 総会での審議は「証しの場」であるから、何にしても全体審議があったほうがいい。特に教会の加盟決定は承認を前提として話したが、議事の祈りと拍手で認めたらよいと思う。ただし、早く決めないといけない重要な決定は、書面で決議したほうがみんな参加できるし、総会の時間短縮にもなる。一方、前期活動・予算は「承認」というのもおかしいのでは？
 - ・ 問題があったら、次期の活動計画・予算に反映されることだと思う。
- 一代議員が責任を自覚するためにも、従来の方で行ってほしいです。
- 当面は現状で良い。一気に難しいと考えますが、議題の中で、例えば(1)～(4)などの中から以下の手順で審議し、総会での審議時間を短縮し、それを他の議題の審議に充当、あるいは質問5のための時間に充てたら良いのでは。
 - 1) 総会議案、報告書を配布した後、ウェブ会議(各個教会毎ではなく、各連合毎、あるいは連合内で数箇所のサテライト毎で良い)で、数回に亘り、①概要 説明、②質問、③賛成意見、④反対意見を出してもらう。
 - 2) 採決は、総会で行う。なお賛否が拮抗する議案は、総会で時間を掛ける。また、それまでに補足資料なども準備する。
- 日本バプテスト連盟は加盟している「教会」が主体のはずです。しかし以前、「常務理事」が総会で「私はこの議案に反対します」と言って、教会提出議案に真っ向から反対弁論をなし、かつ議決権を行使したことがありました。自らが加盟教会代議員でもあることが理由でした。しかし、常務理事の総会でのあの発言のため結果的に「常務理事による限りなく監督制に近いありかた」に道を開いてしまったと私は考えています。常務理事は連盟内でそれなりの権限を持っているからです。理事会は、議論のゆくえを議場に(加盟諸教会同士の議論だけに)任せるべきではなかったかと私は今も考えています。連盟というものは、加盟教会が理事会にたんに職務を委託しているにすぎないものだと私は理解していました。連盟とは理事会が主体ではなく、加盟教会が主体であると私は理解していました。しかしあの時から日本バプテスト連盟は変わり果ててしまいました。とくに人事については、加盟教会がわからないことを単に質問することさえ絶対にしてはいけません。質問しただけで質問した教会が問題であるとされます。恐ろしいです。ですから加盟教会は、理事会のしていることでわからないことはわからないままにしておかなければなりません。理事会のありようについて加盟教会が本当は疑問を持ったとしても全面的に理事会を信頼しなければなりません。加盟教会は黙っていなければなりません。理事会の意に沿う加盟教会でなければならないのです。現在の理事会ではどうなっているか不明ですが、理事会の意を加盟教会が聞いてそれに従わなければならないというようなありかたではなく、現場の加盟教会に真摯に耳を傾けて下さって加盟教会それぞれのありかたを尊重して動いて下さっていた、昔のバプテストらしい理事会のありかたに戻ってほしいと私は願っています。
- これからの少子高齢化と牧会者の減少と高齢化に対応できる総会とするため、
 - ・ メイン会場(天城山荘)

- ・ 各地方連合のサテライト会場
- ・ 書面等の事前決議

等の総会参加方法の選択肢を増やし、全国の教会が関心を持ち、参加しやすい総会を目指す。〇〇周年の声明文等の声明文を除き、タイムリーさが大切な声明文は、今まで通り選挙で選ばれた理事会に一任する。

- 今まで通りでよい。
- 290教会の多様な意志、意見、思いを十分反映させ、討論し、よりよいものを作り上げるためには、分科会で徹底的に議論を尽くすかたちにした方がよい。現行の総会では、議事時間の都合上、原案に賛成か反対か、それだけでおおよそ討論にはなっていないし、総会でさらによい案にして行こうとすることが出来ない。委員会で議論を尽くしたものを、全体会（総会）で承認するのだが、おおよそ2泊3日でそれだけのことが出来るとは考えられないので、委員会で議論の内容も含めて文書で諸教会に通知し、承認するというやり方もあるのではないか。（国会の委員会と本会議というかたちを念頭においている）。
- 教会加盟は議場での審議・可決が望ましいと感じます。代表質問等の審議は、その代表質問者をどのような基準で選ぶのが気になりました。次期基本方針・活動計画では書面による事前審議に加えてオンラインでの審議を行うことができれば、全体審議の時間を短縮することができるとは感じました。オンラインの審議は、スムーズに行えるのであれば、他の議題でも取り入れても良いように感じます。ただし、事前質問（書面による）は、すべての議題においてなされること、また、総会議場での質疑の前提とすることは、あってよいと考えます。
- 問題点、論点を整理し、総会決議時間の短縮をはかるのが良いと思うため。ただ、事前に審議・決議できるものと、全体ですべきものとに分かれるのではないかとと思う。
- 連盟加盟・報告事項は、理事会も責任を持って検討執行していることなので、質問や意見を表明して記録に残すということではまずいでしょ。他は、検討のしかたは違っても、連盟全体で責任を持つという意味できちんと議決したいと思う。ただ、議論の方法は、事前質問、オンライン討論などテーマに応じたやり方を個別に検討したい。また、事前質問を受けた上で現場討論するという方法もあるのでは？
- 議場での討論／質疑応答に加えて、あらかじめ提出されていた書面での賛成・反対意見／質問に対する応答も議場に明らかにし、書面と議場の両方であわせていくこともできるかもしれない。
- 大切なことが議論、分かち合いができるように。そうでないことは書面などによる事前決議などでいいのではないか。議案に対する時間を制限した質問・意見・採決では形式的で深まらず、小さいものや大切なことが忘れられてしまわないだろうか。全体審議と分科会、公開審議の併用などで議案審議が深まれば。
- 限られた時間の中で多くの議案を審議するため、どうしても十分な討議ができない。事前に質問したり、意見を出したり、積極的な提案があれば事前理解が深まり、時間短縮につながる。
- （審議のあとの書面決議）。書前決議の総会の方が参加しやすくなる。深く審議が必要な議題についてはオンライン上で話し合うことにより、内容の理解が深まると思う。

質問5 現状の総会で力点を置かれていないことで、充実させた方が良く思うことがありましたら、教えてください。

- 総会の様子を配信し、直接総会に参加できない方たちのネットでの陪席参加など導入の可能性がないか検討する。この場合の陪席参加者は事前に申し込み。
- 極力総会審議に集中し消化不良で採決とならないようにして欲しい。
- 日本バプテスト連盟加盟教会が何によって繋がっているのか、確かめ合う時間が必要だと思う。様々な価値観が多様化する中で、「バプテスト」理解も多様化しているのではないだろうか。「日本バプテスト連盟信仰宣言」のテーマについて、共有したり討論したりする時間を設けるのはどうだろうかと思う。
- 毎年、審議の時間が足りないと思うので、審議の時間をもう少し長くとることが必要と思う。
- かみ合った質疑応答と賛成反対討論の充実。審議のプロセスが大事。審議に幅を持たせたら良いと思う。
- 各教会が行なっている総会と同じような形で、連盟総会を開催しているため無理があるのではないか。連盟総会をどのような位置づけにするかが課題ではないか。今の総会の延長上で考えるとすれば、今と変わらないものしか生まれてこないと思われる。
- 東西ブロックごとにユニークな宣教活動等の実施している教会から事例紹介してもらい、シンポジウム方式なプログラムがあればよい。
- 各教会の礼拝、CS、祈禱会の様子や取り組みを事例研究で発題して頂けると学びになる。また、教会教育やミニストリーに関しての研修も刺激になると思う。時間の制約があると思うが、議事の時間は簡略化しても、将来の投資をするべきであろう。
- どの教会もオンラインで参加できるようにバックアップし、十分な協議が出来るようにする。
- 信徒が総会に参加できる体制が意識されていないと思う。(日程、議案などなどの点において)
- 礼拝をより充実することによって総会が神の事柄であることを十分に意識することができると思う。(朝の礼拝は全体で行う等)
- - ・ 連盟総会は、大会や祭りの要素がありますが、私は総会審議に徹して欲しいです。
 - ・ 報告、決算、計画、予算だけでも本当にこれをするなら大変なことであり、この積み重ねが、本当の伝道や宣教になって行くと思います。総会におもしろさや新奇さを求められても、開会、閉会、朝の礼拝以上の霊的な養いを求められても、それは別の話のように思います。
 - ・ 聖書的な会議のあり方、言行録15章をもう少し研究して、決議の後の祈りや按手のようなことも必要かと思います。ここには協議、決議、通達、派遣、議事録朗読と皆あるように思います。今も総会牧師がされていますが・・・。
 - ・ 基本は、諸教会、伝道所が元気に強く、宣教できるように、総会が支えることに尽きると思います。
- 意見を出しやすくするために、課題別の分科会の議場の場を設定する。実際の議場では一部の代議員のみの発言しか想定されていないと思います。議案説明は時間制限を設けて簡潔にして頂く。議場の時間は皆さんの時間です。
- お互いの顔が見えるようなこと。
- 小グループや分科会などによる意見交換や分かち合いなど

- 決め事の多い連盟総会は、2泊3日義務と思いつつ？狭く硬い椅子に座し体も思考もこわばります。時にあった講演や分科会等によってよい学びをし、力を得て、協力伝道の共なる他教会メンバーと出会い、励まし合い、楽しく語らって、又新しく歩み出せるような総会・大会を望みます。
- 講演の時間をとって頂けたら有難い。
- 今、コロナの状況の中で痛感させられていることは、互いに繋がることの難しさである。総会が大切なことを決めると同時に、協力伝道の繋がりを実感し、運動体として歩みだせる時となるのが大事だと思う。これまでもそのことを意識してはきたと思うが、これからさらにそのことに重点が置かれる必要があるのではないだろうか。これまで力点が置かれていなかったとは言わないが、これからさらに力点を置く必要がある部分なのだと思う。
- 事前質問を活用しやすくできませんか？「公開質問状」の形で、ハードルが高く感じます。事前意見（事前賛否）も表明しやすくできませんか？議場で発言できる人は限られているので、確実に意見表明できる方法として増えればよいと思います。決めるために集まるのではなく、交わりのために集まってはどうか。
- 総会は決議するところ。余計なものは省いて、もっとスリムにする。研修や講演などは別に行えばいい。
- 集まることを前提にした総会であれば、初めて参加した方がポツンとしている光景を見かける。交わりの時を作りたい。例えば、最近地方連合ごとの座席になっているが、それぞれ地方連合で今何が起きているのかなどをアピールする機会などがあれば豊かになるのではないかと思います。繋がることを前提にするのであれば、参加者が主体的に参加しやすいように改革していく必要があると思う。
- 各個教会からの提案、複数教会連名での提案等をしやすくする工夫。
- ・ 議案の審議に特化すべき。
- ・ 審議の合間にやる委員会の時間や団体のアピール等は、ポスターや資料にきちんとおのせることで対応する。
- 時間の使い方にゆとりがほしい。総会会場への移動も、総会会場内での移動も、とにかく慌ただしい印象がある。
- 出席教会同士の交わり、学び合いの時間があると励まされます。
- 限られた時間の中ですが、西南学院、西南女学院、神学校の先生方よりいくつか聖書特別講座の時間をご用意頂き、参加者があらかじめ選択した講座を受講できるという時間があったら良いかなと思います。また、過去ありました協力伝道の実践の報告はとてもためになりました。各地方連合の役員同士の交わりの時間もあると良いかなと考えます。審議の時間をなるべく効率よく、密度濃く(書面等含め)行い、極力、交わり時間を割いていただけると有難いです。
- ・ 天城山荘での総会は教会間の交流の場でもあった。東京でミッションスクールを借りて一泊の総会を行う場合は、夜は立食の懇談会を自由参加で企画してはどうか。
- ・ 天城山荘は経営が苦しいので、総会とは別に、「連盟の集い」的な発題を行い、自由にビジョンを語りあい、課題を討議し、教会間の交流を図る集会を秋に企画してはどうか。隔年でも数年に1度でも良い。連盟事務所の負担にならない方法を考える。
- ・ 根をつめてやるのではなく、自由時間をもっと増やせばいいと思う。

- 連盟の機構改革や緊急事態時の宣教課題等の充実が必要と思われます。今後、一堂に会して協議や審議、研修をすることも必要と思いますが、オンライン（ZOOM 等）で行うことができれば、さらに多くの参加者を得ることができるのでしょうか。経費の削減にもなります。
- いくつかの分科会をもって研修や講演の時間を設ける。
- 現状の総会では議事の時間が十分に取れないことが多いので、あれもこれもと欲張らないで、議事だけを行なう総会としたい。
- 改善点) 毎年行うのか、2年に1度、あるいは5年に1度など、諸教会が参加しやすくなるような開催頻度も考えた方が良いでしょう。教会員数が少ない教会では、毎年は無理。積み立てて、何年かに1回のほうが現実的では？ 総会非開催年度は連合を会場に連盟研修会などがあっても良い。
- その他) 連盟の現状は非常に厳しいと思う。あちらを立てればこちらが立たず！ しかし、何でも省略してウェブで、となるとますますバプテストらしさがなくなるような気がする。
- 総会時間は相当疲れると思うので会場や周囲の環境に新鮮な空気施設等に万全をお願いします。
- 話が逸れるかも知れないが、総会は2日間で終われるようにする工夫が必要。研修や講演などを入れる必要はない。とにかく集中して皆で討論し、決議できるようにしていただきたい。これまで連盟の活動のアピール、協力伝道のタベ等総会の中に組み込んできましたが、今後は別の形で持っていただけないか。いろいろ勝手なことを申しましたが。
- 講演の時間を設けてほしい。
- ・ これからの連盟を考える討議を限られた時間の中でも続けていくことが大事だと思います。
・ 可能な限り、天城山荘の今後について、早く決定していく必要性があると思います。
・ 総会での質問は質問の趣旨をよく考えて質問して欲しい。
- 修養会的な内容(講演等)。
- 連盟の活動方針など、総会の時だけでなく、2,3年かけて、なるべく多くの教会の意見を引き出して、審議し、決定する方が良いでしょう。講演は、題目、講演者によるので、これもしっかり検討したうえで決めて欲しい。普段の総会では、他の教派からのご挨拶など、形式的なことは省いても良いのではないかと思います。以上のようにお答えしましたが、昨年、加盟したばかりで、総会の歴史も知らず、連盟が何を大事にすべきか、まだよく判りません。昨年、参加して、非常に形式的な事が多いと感じました。教会の宣教に関して、時代の変化や教会の在り方、また、牧師などになる人をどう確保していくか、連盟全体の責任で在り、取り組むべき課題ではないでしょうか。
- 事前の準備。
- 各教会が主体の運営なので、連盟の行事は情報交換による励ましあいや研修以上のことは、全国規模では必要ない。宣教や事務等について小規模教会が必要としている支援を「吸い上げ」て行く、御用聞き会がむしろ必要。
- 長い間、連盟の総会に欠席している教会が出席するようになるような働きかけが大事。単に教会財政や日程や時間の問題ではなく、出席するのに値する集まりになっているかが大事である。そのためには前述のごとく全体研修や分科会などの研修や交わりが必要ではないか？ これらのために3~5時間を確保する。よって総会の議事の時間や議題等は減らす必要がある。バプ

テストとしては「総会」は最高決定機関であることは当然だが、あまりにも総会至上主義になっていてバランスを欠いていると言わざるを得ない「連盟」以外のバプテストや世界のバプテストの総会のあり方をもっと研究していただきたい。

- できるだけ、シンプルなものにする。
- 教会提案、事前質問については現状各教会の総会決議を必要としてかなりハードルが高いものとなっています。もっと提案や質問意見を出しやすくするための工夫をしていただきたい。各教会での総会決議を経る必要については各教会に委ねるということも一案かと思えます。その一方で個人や教会を傷つけたり貶める提案や意見があった場合には議長判断や理事会判断によって受け付けないということをお願いします。そのためには専門性のある理事が選任されるべきだと思えます。
- 審議時間が、とにかく長すぎる。高齢者にあの辛抱を強いるのは酷だと思うので。もっとスムーズに運べないものか。
- 議事がメインではなく、神への感謝と、互いの祝福と励ましの祈りをメインとするバプテスト大会の中に、加盟承認に限って議事の時間を割けばよいと思う。
- 議長の力量こそが大事。形式的に会議が進んでいくのではなく、議長が今いったい何が問題となっているのか、争点は何なのか、そのようなことを聴衆に説明しながら、会議を深める努力をする。そして、対立意見がかみ合い、意見の交換がしっかりと成立するように会議をもっていく。また、会議が膠着状況になっているときには、現在このようなことが問題となっていますが、他の観点からこのことについて考えている人はいませんか、など。議長に選ばれた者には、議長の力量が増す訓練をする機会を作ること。
- ハラスメントや差別発言などに関するルール作りが必要ではないかと思えます。議場での発言や事前質問等に関するガイドラインに沿って議事が運営されるようにしたいです。差別やハラスメントに注意しましょう、だけではなく、どうした場合にそれが差別やハラスメントにあたるのかを示し、それにどのように対処するのかまでを明示する必要があると考えます。
- 力点が置かれていないとは思いますが、議案の内容がもっと理解し易いと嬉しいです。
- 基本的には議事以外のプログラムは最小限で良いと思う。方針案や計画案をとにかくじっくりと話せるようにして、政策論議をみんなですっきりやれば良いと思う。
- 福音宣教への決意
 - ・ 代議員お互いが総会出席して徒労感ではなく「本当に良かった!」と思う連盟総会でありたいと思っています。
- 議事数と時間を減らし、大会的要素(礼拝と交わり)をもっと多くする。
- 苦闘する地方教会の実情を紹介するプログラムを、協力伝道の夕べの時間にでも入れていただけないでしょうか。困難な条件の下で、どんな希望や展望や不安を抱いて教会活動を担っているのかを、当事者が直接アピールするのがよいか、常務理事や宣教部長がまとめて紹介するのがよいかは、少し吟味した方がよろしいかと思えますが、そういう情報に触れただけで、少し風通しがよくなるような気がします。
- よく言われるような「会議より交わり重視、お祭りのようなプログラムがほしい」とは思わないのですが、多少はそのような意味あいを持った時間が総会前などに短時間でもあると、初めて出席し

た方や遠くから来た方々などが心和むのではないかと思います。たとえば、来賓スピーチに続けてウェルカム・タイムなどを 20 分ほど持ち、会議に先立つアイスブレイクの時とするだけでも、「会議=ビジネス」というカタい雰囲気がやわらぐのではないのでしょうか。総会慣れしきっている一部の人だけでなく、そこにいる誰もが参加していい雰囲気ができるといいと思います。オンラインやサテライト方式を取り入れるだけでも雰囲気は変わるでしょう。また、可能であれば選挙、特に理事長・副理事長などは候補者を紹介する、また抱負の一言を聞く、日頃働いていて下さる事務所の方々を総会の中で短く紹介して感謝の拍手をする時をもうける、なども、総会の在り方を変えていく具体的な工夫ではないのでしょうか。

- 直接の回答ではないが、総会は何の為に開催するのか、限られた時間で、しなければならないことだけに専念した方が良くと常々思ってきた。乱暴な言い方をすればプログラムが欲張り過ぎていると思われる。予算についても同様。一度採決されたことは執行することは当然ではあるが、見直しも頻繁にするべきと思う。でなければ年々、する事が増え続け、それに伴う予算も増えることになる。決議の際に期間を定めて見直し年を含めた採決をしては思う。
- 全国から集まる時です。分かち合いや情報の共有など顔を見ながら課題を共有できることが必要と考えます。このためには総会を 3 日間ですべてをこなすのではなく、追加の日程を設定したり、部分参加を認めたりする（礼拝や分科会、講演会だけでも）ことも検討する必要があると感じます。総会が議場のみになったとしても、教会員だけが見られるなどセキュリティをかけつつ、WEB配信だけでもして、参加のすそ野を広げて関心を持っていただく機会を増やすことを検討して頂ければと思います。このためにも議案書は重要ですし、文言にも気遣いが必要と考えます。
- 総会プログラムに今「以上」の内容を求めることは、総会をさらに複雑化し、主催者の労苦の増大や総会の本義から離れていってしまうように思う。
- 他教派の代表挨拶は事前に印刷して総会前に文書で配布する。
- これからの連盟、教会をどうしていくのか、活動計画や予算案の審議に時間を取る必要があるでしょうし、またこれからの伝道や、教会形成などについて考える研修会があったらいいと思います。
- とにかく長時間となるような総会を実施しないように工夫頂きたい。（総会に出席したいと考えさせるようなスケジューリングをお願いしたい）。
- 物理的には時間がないと思いますが、毎年「テーマ」（感染症等）を決めて講演をしていただければ研鑽になると思います。
- ウェブでの開催で、協力伝道、交わりの時をどうするかが課題。
- 諸教会・伝道所の信徒の皆さまは必要性を受け止めながら、会議・報告・礼拝中心の総会のあり方に多少ネガティブなイメージもあるようです。同時にキリストの教会連合体が一つの有機体・家族・体として、セレブレーションや交わり、コンサート形式の礼拝、ミッション系の映画上映などもっと祭りの要素を検討していただきたいです。
- 研修や講演の時間を設ける、参加教会同士の交流や交わりの時間を設ける。
- 天城山荘を会場とする場合、大チャペルでの長時間の会議は高齢者にとってはハードなので、何とかならないかと思う。

- ・ 顔を合せて集うことに意味がある。全国各地で苦渋している教会が財政的理由で集えないことがないよう、参加費補助を充実させる。
- ・ オンラインで総会の様子をリアルタイムに配信する。
- ・ 今のスケジュールだけでも相当盛りだくさんですから、これ以上の企画は無理だと思います。むしろ、総会は「連盟・諸教会の証しの場」なので、意見一つ言うにも聞くにも、イエス・キリストが現れるように、神さまに用いて益としていただけるように、よく考えつつ行えば、欠けている部分も満たされると思います。

2019年度の総会に初めて出席しましたが、審議の前後や中間に説教があり、祈りがあり、賛美があったのでしみじみと感謝でした。特に審議の前に全員で「輝いて生きる」を踊りながら賛美したのが感動的でした。ああいうのが信徒の総会ならではの良さだと思います。

- 初参加された代議員が来年も行きたくなるような総会にしてほしいです。何故か、もう一度総会に行きたいと希望される教会員が少ない。
- 講演、または研修の時間を設けたら良いのでは。
- ・ 総会とバプテスト大会的な行事（協力伝道の時間、提唱の時間、交わり等）を分離し、総会は議論に集中できるようにすれば良いのではないか。
- ・ バプテスト大会的な行事は、小羊会や少年少女や青年も参加できる全年齢層が参加できる、交わりの行事に発展させてはどうか。
- 5分でも10分でも良いので、全国青年大会の報告の時間を設けるとよいと思います。おそらく大会実行委員会は連盟総会にそういう場所（提唱の時間）があることをご存知ないかもしれません。
- ①天城山荘の経営問題、存続問題はバプテスト連盟の文化の問題もある。又経営問題でもあるので、経営の知識と経験に長けた専門委員会を作り、その討議の内容を公表して、討議を重ねたらどうかと思います。天城山荘の問題は交通の問題が基本で、活性化は地域文化のほり起こしと新しい利用のしかたの提案にかかっていると思います。アメリカのクリスチャンの生活の価値観のにおいを感じます。「赤毛のアン」を思い出します。
- ②歴史を重ねて来た教会と無牧が長かった教会では活動の内容も信仰のスタイルも大きく違います。しかし一つの場で討議する事はいろいろな利点もあります。私は総会に参加する時は総会の運営がすばらしいので感心しています。頑張ってください。
- 総会の会場をどこにするかによって、できることがしぼられ、プログラムも自ずと決まってくるでしょう。研修や講演よりも、総会に集中するのがよいと、考えます。
- 祈りの時間（祈祷会・・・全体でも良いし、幾つかのグループに分かれてもよい）を設けてほしい。
- 参加が少ない教会への配慮は充実した方がいいと思う。経済的が一番かとも思うが限界があるので、教会の多い地域で行うというのは一つの考え方になる。女性大会も福岡開催で近県や県内からたくさんの参加者が得られた。参加者が増えるとプール費も潤沢になるし総会が身近になり興味もわくので、参加しやすさにより影響があると思う。
- 出席できない教会の声をオンラインなどで聞き祈る時間。
- 事前に質問を提出し、回答を読んで総会に臨むことで審議の時間を短縮できるのではないかと思います。